

平成30年度 地域公共交通確保維持改善事業

地域公共交通バリア解消促進

バリアフリー化・利用環境改善事業

協議会名・補助対象事業者名

松戸地区ノンステップバス導入協議会
新京成電鉄株式会社 他1社

事業内容

ノンステップバスの導入

経緯

設備の現況

平成29年度末ノンステップバス導入率
新京成電鉄(株)54.1%(53台/98台)
京成バス(株) 93.3%(56台/60台)
平成30年度末ノンステップバス導入率
新京成電鉄(株)60.2%(59台/98台)
京成バス(株) 98.5%(64台/65台)

目的・必要性

超高齢社会に対応するために、さらなるノンステップバスの増車を図り、地域の高齢者及び車椅子利用者等がバスを利用しやすい環境を整備することを目的とする。

目標・効果

目標 平成23年3月、バリアフリー新法に基づく「移動等円滑化の促進に関する基本方針」が改訂され、ノンステップバス導入に係る数値目標が大幅に引き上げられたことに伴い、当地区においても、平成32年までにノンステップバス70%以上という目標の実現を目指す。

効果 乗降口に段差のないノンステップバスの運行比率をさらに増加させることにより、地域の高齢者や車椅子利用者、ベビーカー利用者等の移動円滑化が図られるとともに、バス利用者の増加に寄与する。

協議会構成員

松戸市、新京成電鉄(株)、松戸新京成バス(株)、京成バス(株)、関東運輸局千葉運輸支局、一般社団法人千葉県バス協会、松戸市バス交通連絡会

事業の概要

●大型ノンステップバス導入 新京成電鉄(株) 2両